

令和2年度第1回国民健康保険作業部会の開催状況について

個別の協議事項について、実務担当者レベルで実効性のある推進方策等の検討を行う「千葉県国民健康保険作業部会」を開催しましたので結果の概要を報告いたします。

今回は、「千葉県国民健康保険運営方針」について、今年度、対象期間の中間年に当たり必要な見直しを行うこととしているため、見直しにあたっての説明及び意見交換を行いました。

○開催日時：令和2年6月22日（水）10：00～11：30（於：千葉県庁南庁舎4階）

○出席団体：千葉市・習志野市・鎌ヶ谷市・浦安市・流山市・富里市・神崎町・大網白里市・睦沢町・御宿町・富津市・鴨川市・千葉県国民健康保険団体連合会・千葉県

○県からの主な説明内容

- （1）県内市町村を対象に実施した「千葉県国民健康保険運営方針」中間見直しにおけるアンケートでの市町村からの具体的な意見の内容と、それについての現時点での県としての考え方
- （2）上記（1）のアンケート結果と、国が示す「国保運営方針策定要領（改定版）」の考え方を踏まえた、現時点で県が考えている「千葉県国民健康保険運営方針」中間見直しの内容
- （3）「国民健康保険運営方針」中間見直し作業スケジュール

○各支部担当者からの主な意見

- （1）保険料水準のあり方を検討するにあたって、保険料水準を統一する場合のメリット・デメリットをつかみきれていないので話し合いを進めていきたい。
- （2）県の方で、広域化以降の財政健全化に向けた各市町村の動向について把握及び検証をし、各市町村の立ち位置及びやるべきことはどのようなことかを明確化していただきたい。
- （3）政府で議論されている全世代型社会保障検討会議の中間報告における国民健康保険の関連施策の制度改正が今後進んでいくことで、国保財政や納付金に影響があるのではないかと。政府の社会保障審議会の中での議論も踏まえて、今後の見通しを立てるというのも一つの方法ではないかと考える。